

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 団体用 )

## I 基本事項

整理番号

150

事業名	交通安全協会負担金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	市民生活部	生活環境課		款	総務費・2款
電話	0799 - 43 - 5024			項	総務管理費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	交通対策費・10目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_			
	まちづくりの目標	とにかく「いのち」が一番_[安全]			
	施策目標	防犯や安全への意識を高め、子どもや市民を危険から守る			

## II Plan&amp;Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人を、構成員内訳)				
		南あわじ交通安全協会			構成人数(人) 24	
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 交通安全思想の普及・浸透を図り、交通事故防止の徹底を図る。				
	実施内容	(主な事業、活動内容等) 南あわじ市内での交通事故死亡現場において、立て看板等設置し、地域住民に周知を図る。				
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など) 地域における交通安全を確保するために交通安全広報・啓発、歩行者の保護誘導、交通安全大会等の活動を行うほか、優良運転者の表彰や免許事務など運転者の皆さんのお手伝いなどしている任意団体。 上部団体ともいえる財団法人兵庫県交通安全協会があり、県下58箇所の単位交通安全協会とともに相互に連携して活動している。				
		事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体	<input type="checkbox"/> 市役所	<input checked="" type="checkbox"/> 市単位 (生活環境課) <input type="checkbox"/> 旧町単位 ( ) <input type="checkbox"/> 旧村単位 ( )	
	補助金算出根拠					
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度	<input type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)					
	<input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から					

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インプット	直接事務費 (千円)	450	450	300	300
	交通安全協会負担金	450	450	300	300
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	450	450	300	300
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)				
	事業量2(事業に要した人数)				
	年間経費([A]+[B])	450	450	300	300
	「構成人数」一人当り経費 (千円)	18.8	18.8	12.5	12.5
受益者人数( 53,374 ) 1人当り経費(千円)	0.0	0.0	0.0	0.0	
経費に関する 補足説明					

### Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 運転される方の意識改善を図り交通事故防止。 島内一円に周知できる。 ドライバー等の認識の強化。	自己評価 (5点評価)
	3	
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 交通安全対策協議会等、団体に徹底させるとともに、それぞれの機関・団体の特性に応じた具体的な実施計画を策定し、積極的な交通安全活動を展開する。	自己評価 (5点評価)
	3	
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 現状維持	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">評価グラフ</p> <p style="text-align: center;">費用対効果      必要性</p> </div>

## IV Action&amp;Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	地域における交通安全を確保するための交通安全広報・啓発活動などの交通安全対策については公益性が高く、今後とも、公益性の観点から市が負担すべき経費について支援は必要である。	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果		
(現状維持の場合も記入)	仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 住民への周知し交通事故への抑止を図る。	